

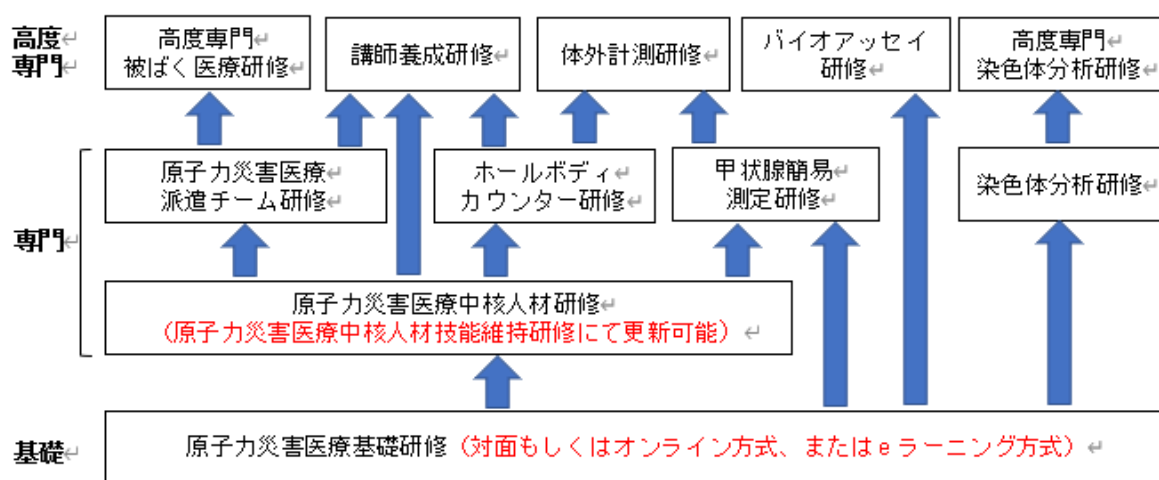
福井大学医学部附属病院

令和8年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）

令和8年度第1回原子力災害医療中核人材研修（福井大学）募集要項

本研修は、原子力規制庁の令和8年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実行性確保事業）（以下、「補助金事業」という。）の一環として、福井大学が開催するもので、「原子力災害医療中核人材研修」の募集要項のご案内となります。

現在、原子力災害医療に関する研修は、基礎、専門、高度専門へとステップアップする研修体系（以下、「新研修体系」という。）のもと開催しています。



令和6年度からの原子力災害医療研修体系

1. 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることになっており、24 時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬出を行うことが可能な体制が求められています。本研修は原子炉施設等が立地する道府県等において、原子力災害が起きた際にも医療拠点となる病院として機能できるように、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える中核人材等の養成を目的とする専門的な教育研修です。

※「原子力災害拠点病院」の施設要件については、「原子力災害拠点病院等の役割及び指定要件」（令和7年10月3日原子力規制庁）を参照してください。

2. 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院及び原子力災害医療協力機関（※1）の医師、看護師、診療放射線技師等で、令和3年4月以降に開催の下記研修のいずれかを修了している者。（修了資格が有効期限内であること）

- ・原子力災害医療基礎研修（※2）

- ・原子力災害医療中核人材研修
- ・原子力災害医療中核人材技能維持研修

※1：「原子力災害医療協力機関に求められる機能（7項目）」のうち、原則として下記に該当する機関に限ります。

A 項目：被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療を行えること

C 項目：「原子力災害医療派遣チーム」を保有し、その派遣体制があること

（ご所属機関がA・C項目に該当するか不明な場合は本学までお問合せください）

※2：原子力災害医療基礎研修未受講の方は、6月5日（金）までに受講修了してください。

3. 募集人数及び研修期間

募集人数 20名

研修期間 令和8年7月17日（金）～7月18日（土）（2日間）対面研修

※事前 e ラーニング講義は受講決定後から約3週間の受講期間を設けます。この期間内に受講を完了できなかった場合は、対面研修を受講することはできませんのでご注意ください。

受講方法等の詳細は、受講決定通知時にお知らせいたします。

4. 実施場所

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

福井大学医学部附属病院 高度被ばく医療支援センター

アクセス：<https://www.hosp.u-fukui.ac.jp/outline/access/access/>



5. 研修内容

講義：事前 e ラーニングにて7講義（受講期間：6月17日～7月8日の予定）

1. 医療機関の原子力災害対策
2. 医療機関での初期対応
3. 放射線障害の診断と治療
4. 外部被ばくと内部被ばくの線量評価
5. 原子力災害時のメンタルヘルス
6. 放射線管理要員の役割
7. 原子力災害事例

・本研修では、量子科学技術研究開発機構が運用する「原子力災害医療研修eラーニングシステム」を使用します。同システムからの自動送信メールはno-reply@share-wis.comで発信されますので、受信が可能な設定をお願いします。

・事前 e ラーニング講義は受講決定後から約3週間の受講期間を設けます。この期間内に受講を完了できなかった場合は、対面研修を受講することはできませんのでご注意ください。

さい。受講方法等は、受講決定通知時にお知らせいたします。

演習・実習：別記 時間表（案）のとおり。

【到達目標】

- ・現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れることができる。
- ・原子力災害拠点病院等における医療チームの中心的なメンバーとなることができる。
- ・被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するか判断できる。

【カリキュラムの特徴】

- ・複合災害、大規模災害などによる原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定
- ・想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習
- ・患者の受入れ、除染処置等を含めた実習

6. 研修修了について

- ・事前 e ラーニングの全ての講義と実習を受講し、ポストテストの正答率が 80%以上であれば研修修了となります。
- ・ポストテストの正答率が 80%未満の場合は、正答とその理由を適時解説した上で再テストを行った上で研修修了となります。

7. 受講料

無料

※本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため、補助事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材養成のための教育研修と位置付けられています。

8. 交通費・宿泊費について

本学の旅費規程に従い、交通費及び宿泊費を支給いたします。詳細については、受講決定後にお知らせいたします。

9. 申込要領

(1) 申込期間 令和 8 年 5 月 13 日（水）～6 月 11 日（木）

(2) 申込方法

- ・申込期間内に、下記の「被ばく医療研修ポータルサイト」からお申込みください。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/retmsWeb/top>

- ・新規アカウント登録（個人情報入力）時に、原子力災害医療に関する研修受講歴があれば忘れずにご記入ください。受講資格の判断材料となります。



10. 受講決定通知

- (1) 6月16日（火）までに本人宛に結果を通知します。応募多数の場合には受講者数を調整させて頂くことがあります。（受講決定は先着順ではありません）受講決定通知が届かない場合は問い合わせ先までご連絡ください。
- (2) eラーニングの受講については、6月17日（水）までに、量子科学技術研究開発機構が運用する「原子力災害医療研修 eラーニングシステム」からメールで通知がありますので、ご確認ください。
eラーニングシステムの操作マニュアルは、
https://assets.share-wis.com/uploads/editor_file/file/54117/manual__Ver.3.pdf
からダウンロードできます。」
- (3) 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程など受講に必要な諸事項を送付します。
- (4) 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は研修の取りやめ、受講決定を取り消す場合があります。
- (5) 受講決定後の参加申し込みの取り消しは、原則として認めませんが、やむを得ない事情による場合には「辞退届」の提出が必須となります。

11. 修了証書

基準を満たした受講生には被ばく医療研修認定委員会より修了証書を発行します。
発行には約2週間を要するため、後日お知らせすることとなります。

12. 問い合わせ先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地
福井大学医学部附属病院 高度被ばく医療支援センター
TEL 0776-61-8753（ダイヤルイン）
FAX 0776-61-8754
E-mail hibakusien@ml.u-fukui.ac.jp

【個人情報の取り扱いについて】

申込に際してご記入いただきました、氏名、住所、口座番号などの個人情報は、本学の個人情報保護規定に基づき厳重に取扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制などの整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため

- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

- ⑥ 本研修の受講を申し込んだことにより、eラーニングシステムのサイトポリシー（<https://rem-elearning.nirs.qst.go.jp/pages/738>）を了承し、同システムに個人情報を登録することに同意したとみなします。

令和8年度 第1回原子力災害医療中核人材研修（福井大学） 時間表（案）

1日目 集合研修 7月17日（金）						
時間		形式	講義タイトル		会場	
8:30~8:45	0:15	—	受付		研修室5前方	
8:45~9:00	0:15	—	開講式/ガイダンス			
9:00~9:10	0:10	—	プレテスト			
9:10~11:10	2:00	実習1	放射線測定器の取り扱い		研修室5後方	
11:10~11:20	0:10	—	休憩・移動			
11:20~12:00	0:40	実習3 実習6	(A班) 実習3 防護装備着脱	(B班) 実習6 傷病者の汚染検査	実習3：研修室3・研修室4 実習6：研修室1・研修室2	
12:00~12:05	0:05	—	移 動			
12:05~12:45	0:40	実習2 実習5	(A班) 実習6 傷病者の汚染検査	(B班) 実習3 防護装備着脱	実習3：研修室3・研修室4 実習6：研修室1・研修室2	
12:45~12:50	0:05	—	移 動			
12:50~13:40	0:50	—	昼食・特別講演（ランチョン形式）		研修室5前方	
13:40~13:50	0:10	—	休憩・移動			
13:50~14:30	0:40	実習2 実習5	(A班) 実習5 除染 (蛍光剤使用)	(B班) 実習2 WBCによる計測	実習2：WBC室 1 実習5：処置室2	
14:30~14:35	0:05	—	移 動			
14:35~15:15	0:40	実習2 実習5	(A班) 実習2 WBCによる計測	(B班) 実習5 除染 (蛍光剤使用)	実習2：WBC室 1 実習5：処置室2	
15:15~15:25	0:10	—	休憩・移動			
15:25~18:25	3:00	演習	机上演習		研修室5後方	
18:25~18:30	0:05	—	連絡事項			研修室5前方

2日目 集合研修 7月18日（土）					
時間		形式	講義タイトル		会場
8:30~8:35	0:05	—	ガイダンス		研修室5前方
8:35~8:45	0:10	—	移動・更衣		更衣室
8:45~9:15	0:30	実習4	医療施設の養生		除染室1
9:15~9:20	0:05	—	休 憩		
9:20~10:55	1:35	実習7	被ばく・汚染傷病者対応（症例1）		除染室2
10:55~11:05	0:10	—	休 憩		
11:05~12:25	1:20	実習7	被ばく・汚染傷病者対応（症例2）		除染室1
12:25~12:35	0:10	—	更衣・移動		
12:35~12:50	0:15	—	ポストテスト		研修室5前方
12:50~13:10	0:20	—	総合討論		
13:10~13:20	0:10	—	閉講式		